

採血を受けられる患者さんへ

国家資格を有する臨床検査技師や看護師が採血を担当しております。
安全で確実な採血のために以下にご協力くださいますようお願い申し上げます。

①本人確認にご協力ください

患者間違いを防止するため、患者さんご自身に姓名と生年月日を名乗っていただいております。

②以下に該当する方は事前にお申し付けください。

- ◎採血時に気分の悪くなったことのある方
- ◎消毒薬（アルコールなど）やスタッフの手袋（ラテックスなど）にアレルギーをお持ちの方
- ◎血液透析中の方
- ◎乳房切除手術を受けられた方
- ◎血液をさらさらにする薬（ワーファリンなど）を服用中の方
- ◎血管が細く、採血部位を温めたい方
- ◎その他、採血に関してご希望や不安のある方

③しびれや痛みを感じたらお知らせください。

採血中に持続する痛みやしびれ、気分不良が生じたらすぐにお知らせください。

④採血後は揉まずに押さえてください。

採血後に血が止まりにくく、内出血することがあります。採血後は採血したところを揉まずに、5分以上しっかりと圧迫して止血してください。

再採血について

針を刺しても採血できない場合や、1回の採血で必要な血液量が採取できない場合には針を刺す場所を変えて再度採血させていただきます。

以下の場合は受診科で対応していただいています。

- ・注射等を伴う負荷試験の採血
- ・採血が困難な場合
- ・患者さんの容態が急変した場合の対応
- ・採血後の疼痛や不安、採血合併症への対応
- ・採血前の安静時間が必要な採血
- ・下肢からの採血

疑問点など

検査項目の内容、目的や結果の解釈などについては主治医にお尋ねください。

採血に伴う合併症について

採血は細心の注意を払って行っています。基本的に安全で合併症を起こすことは少なく、軽傷なものが多いですが、以下のような症状が現れたら主治医にご相談ください。

①止血困難・皮下血種（青あざ）

採血後に血が止まりにくかったり、内出血をして青あざが生じたりすることがあります。

揉まずに、5分以上圧迫して止血してください。

血が止まりにくい方はお申し出ください。

②アレルギー

採血時の消毒薬（アルコール）やスタッフの手袋（ラテックスなど）でかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出ることがあります。

アルコールやラテックスにアレルギーをお持ちの方は採血前にお申し出ください。

③神経損傷

採血後に神経が損傷し痛みやしびれなどが持続することがあります。

約1万～10万回に1回程度で起こるとされています。

またごくまれに運動麻痺が生じることもあります。

このような症状が続く場合はすぐに主治医にご相談ください。

④血管迷走神経反応

採血時や採血前後に脈が遅くなったり、急激に血圧が下がることにより、めまい、気分不良、失神などを引き起こすことがあります。

以前に気分の悪くなったことのある方は、採血する前にお申し出ください。

*これらの症状が起きて診察を要した場合は通常の保険適応となります。